



自主防災組織

多くの人が「避難をする」ということを決断し、避難行動を起こすことができていません。隣近所で声掛けをし、共に避難をする自主防災の体制を作りましょう。

皆さんで協力して家族の命を、そして地域の命を、荒ぶる自然の脅威から守りましょう。

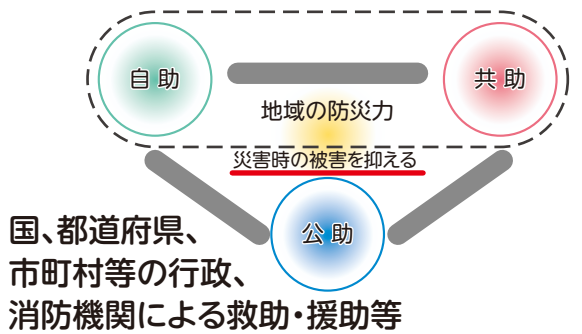
地域の防災力

自助・共助・公助の連携により、災害による被害を軽減することができます。ひとたび大規模な災害が発生したときには、行政機関が行う活動(公助)は交通網の寸断や同時多発火災などにより、十分対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える(自助)とともに、地域での助け合い(共助)による地域の防災力が重要となります。

災害に強い地域づくりを目指して、災害時の被害を軽減するため、「自主防災組織」の活動を通じて、共助の強化、地域の防災力の強化に向けた取り組みを始めてみませんか？

自分の身を自分の
努力によって守る

地域や近隣の人が
互いに協力し合う



1 自主防災組織とは？

- 『自分たちの地域は自分たちで守る』という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織の事です。
- 平常時には、『災害に強いまち(地域)』作りを目指し、地域防災に関する活動を展開します。
※知識の習得・普及啓発・地域の把握(防災マップ)・防災訓練など
- 災害発生時には、地域住民の命を守り、被害の拡大を防ぐために行動します。
※情報の収集伝達・避難(誘導)、消火、救出、避難所運営活動など



2 なぜ、自主防災組織が必要なの？

- 大規模な災害が発生した場合、行政機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。このような時、地域の皆さんが一緒になって協力し、災害や避難に関する情報の伝達、避難誘導、安否確認、救出・救護活動に取り組むことで、被害の軽減を図る事ができます。また、活動を迅速に進めるためには「お互いに顔の見える関係」の中で、事前に地域内で役割分担を決めておくことが有効です。より効率よく、さまざまな活動をするためにも、事前の準備(=体制づくり)が重要です。

- 平常時と災害時で、活動内容は概ね次のような役割になります。(青枠:平常時、赤枠:災害時)

情報の収集・伝達



- 住民に対しての連絡体制、手段の検討
- 情報収集・伝達訓練の実施
- 防災知識の普及・啓発
- 公的防災機関との連携確保

- 災害情報を住民に対して正確かつ迅速に伝達
- 地域内の被害情報を収集し、自主防災組織本部へ報告
- 混乱回避、出火防止等の広報

初期消火活動



- 初期消火訓練の実施
- 消火用水の確保、確認
- 出火防止の啓発

- 初期消火活動 **延焼拡大を防ぐのが基本です**ので無理はしないこと!!
- 情報担当と連携して出火防止等の広報

避難誘導活動



- 事前に避難路、避難所を把握
- 避難誘導訓練の実施
- 避難路の安全点検 **※危険箇所(がけ、ブロック塀)など確認等**
- 避難行動要支援者の把握

- 情報担当と連携して避難の呼びかけ
- 安全な経路を選択して避難誘導
- 避難行動要支援者の避難支援
- 避難地での安否確認
- 安否確認による救出・救護担当へ情報伝達

救出活動



- 応急手当、衛生知識の普及
- 救命講習への参加
- 応急医薬品、救助資機材の確保、点検
- 技能、ノウハウを持った住民の把握
- 救助用資機材の点検・確保

- 避難誘導担当と連携して速やかな救出 **※救出活動は危険を伴う場合があるため、二次災害に十分注意して下さい。**
- 負傷者の搬送、応急手当の救護
- 避難所・救護所での救護活動への協力

給食・給水活動



- 食料、飲料水の個人備蓄について普及啓発
- 炊き出し訓練の実施
- 炊き出し用資機材の確保、点検

- 食料や水、救援物資等の受入、配布
- 必要に応じて炊き出し



家庭での備えされていますか？

突然起こりうる災害を予測するのは難しいものです。いざというときの家族の行動、避難所や避難方法、連絡方法などを普段から家族でよく話し合っておきましょう。その際、「非常時持ち出し品の準備&チェック」の頁を活用して、持ち出し品の点検も行っておきましょう。

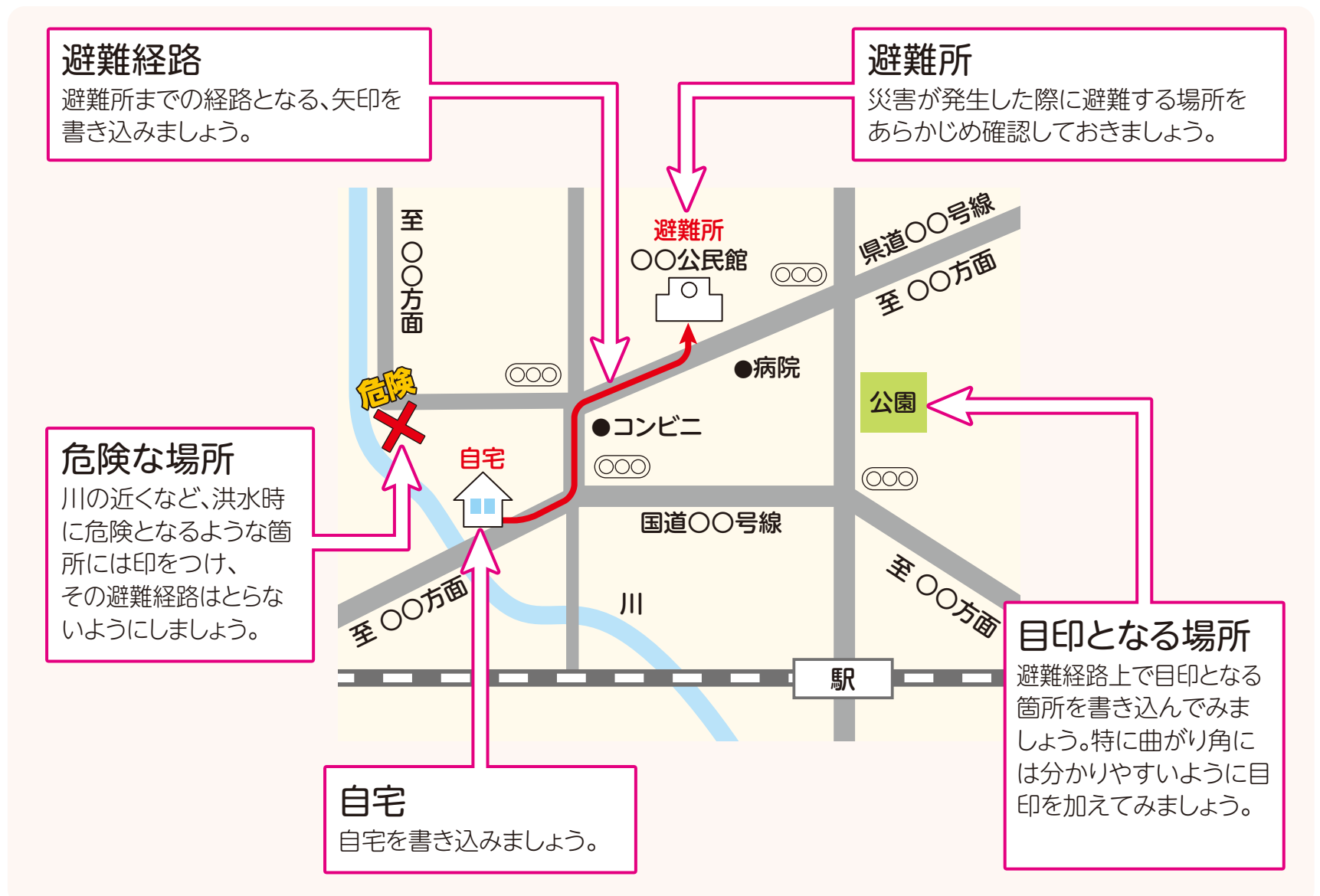
家族で話し合っておきたい項目

- ① 家の中ではどこが一番安全か
- ② 救急医薬品や消火器などを準備しているか
- ③ 乳幼児や高齢者の面倒は誰がみるのか
- ④ 安全な避難経路、避難所はどこにあるのか
- ⑤ 避難するとき、誰が何をもち出すのか、非常時持ち出し袋はどこに置くのか
- ⑥ 家族間の連絡方法と最終的に出会う場所はどこにするのか
- ⑦ 昼の場合と夜の場合の役割分担は、はっきり決まっているか
- ⑧ 地域の防災活動(自主防災組織の訓練など)に参加しているか



家庭のオリジナルマップの作成

家族で話し合った内容なども踏まえ、自宅から避難所までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家庭内で共有しておきましょう。





特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。普段からの備えと、早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報が発表されたら

- 尋常でない大雨や津波などが予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。



命を守るために情報の収集に努めてください

南島原市からの防災情報

- 南島原市の防災ポータルサイト <https://www.minamishimabara-bosai.jp/bminamishimabara42/portal/html/home.html>
南島原市内の防災情報について掲載しています。
- 南島原市総合マップ <https://www.city.minamishimabara.lg.jp/gismap/>
南島原市内のハザードマップについて掲載しています。
- エリアメール(緊急速報メール)
南島原市では、災害発生時や災害が発生するおそれがある場合などに、避難指示など災害の被害を最小限に食い止めるために必要な情報を迅速に提供するため、NTTドコモ、ソフトバンク及びKDDI(au)が提供する緊急速報メール(緊急情報の配信サービス)を導入しています。*機種により「緊急速報メール」を受信できない場合や受信設定が必要となる場合がありますので、詳しくは、各携帯電話会社へお問い合わせください。
- 防災行政無線等
防災無線を使用し、情報をお伝えしています。



その他機関からの防災情報

- FMプラプラ(FMしまばら 長崎県南島原市)
防災と地域情報交流および難聴エリア解消を目的としたこのアプリは、インターネットを利用して音声や文字放送を放送局より受信することができます。ブラウザ版プレーヤー (Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari)
アプリ版 ※FMプラプラをダウンロード後、「FMしまばら」を選択
- テレビ・ラジオ
ニュースや天気予報番組だけでなく、データ放送では、気象情報や防災情報について常時放送しております。



水害・土砂災害に関する防災情報のお問い合わせ先

気象・土砂災害	注意報、警報、特別警報 土砂災害警戒情報 雨量レーダー情報 災害防災マップ など	長崎県防災ポータル https://www.bousai.pref.nagasaki.jp/ 【お問い合わせ先】 長崎県危機管理部防災企画課 TEL:095-824-3597	
水害	雨量情報 河川水位情報 ダム情報 河川監視カメラ映像 洪水浸水想定区域 など	国土交通省：川の防災情報 https://www.river.go.jp/portal/#89 長崎県河川・砂防情報システム http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/nagasaki/main/index.php 【お問い合わせ先】 ● 国土交通省が管理する河川に関して 九州地方整備局水災害予報センター TEL:092-707-0110 ● 長崎県が管理する河川に関して 長崎県土木部河川課 TEL:095-822-0397	



わが家の防災メモ

日頃から、災害が発生した時の避難所などを話し合っておきましょう。

● 家族の連絡先

家族などの名前	生年月日	血液型	職場・学校など	電話番号

※近くのお年寄りや身体の不自由な方の名前も記入しておきましょう。

● わが家の避難所

避難所	電話番号	住所
第1候補		
第2候補		
第3候補		

● 家族が離ればなれになった時の集合場所

--

● 非常時持ち出し品の置き場

--

